

# 大分港 港湾計画 一部変更

平成23年11月24日  
交通政策審議会  
第46回港湾分科会  
資料 1-5



位置図

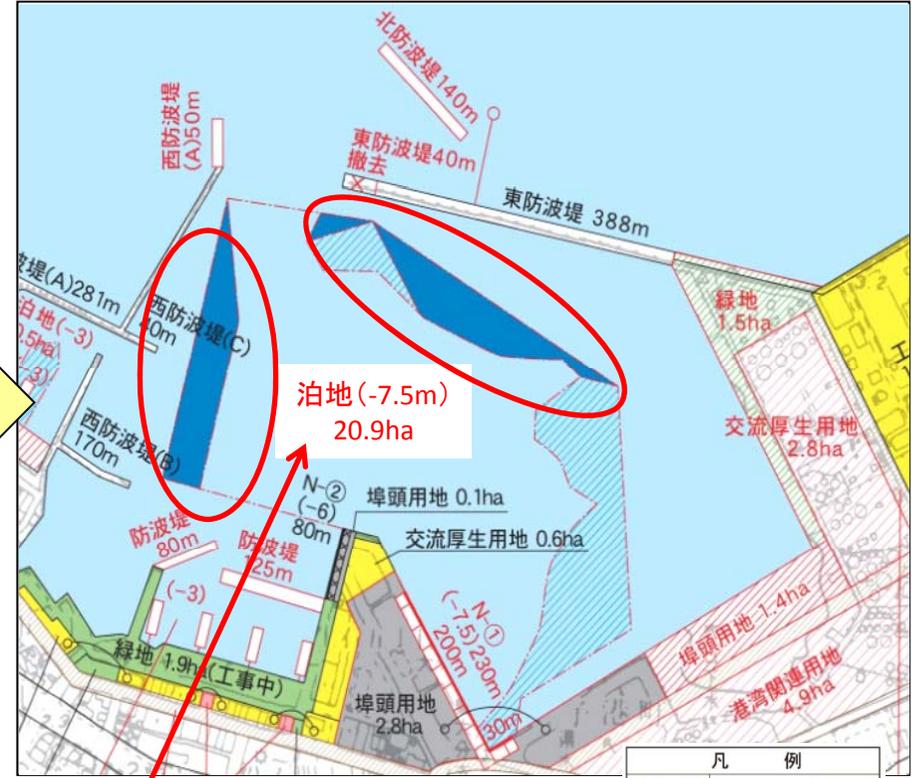


# 大分港西大分地区の計画変更内容

(既定計画)



(今回計画)



現在の利用状況

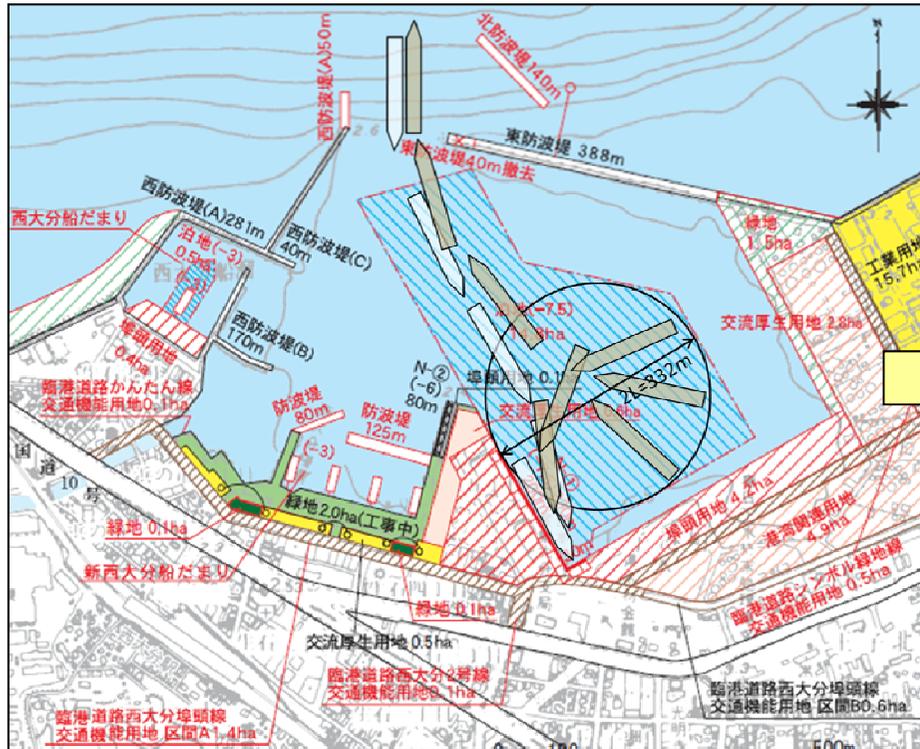
岸壁(-7.5m)230m、泊地(-7.5m)14.8ha  
 ・昭和45年に神戸港へのフェリー航路が開設され、現在は1便/日で就航している。  
 ・平成21年はフェリー貨物(内貿)655万トンを取り扱っている。(大分港の公共岸壁での総取扱貨物量の約7割)

**泊地(-7.5m)14.8ha⇒20.9ha**  
 回頭エリアを移動し、当該エリアにおける水深を確保するとともに、泊地規模の変更を行う。

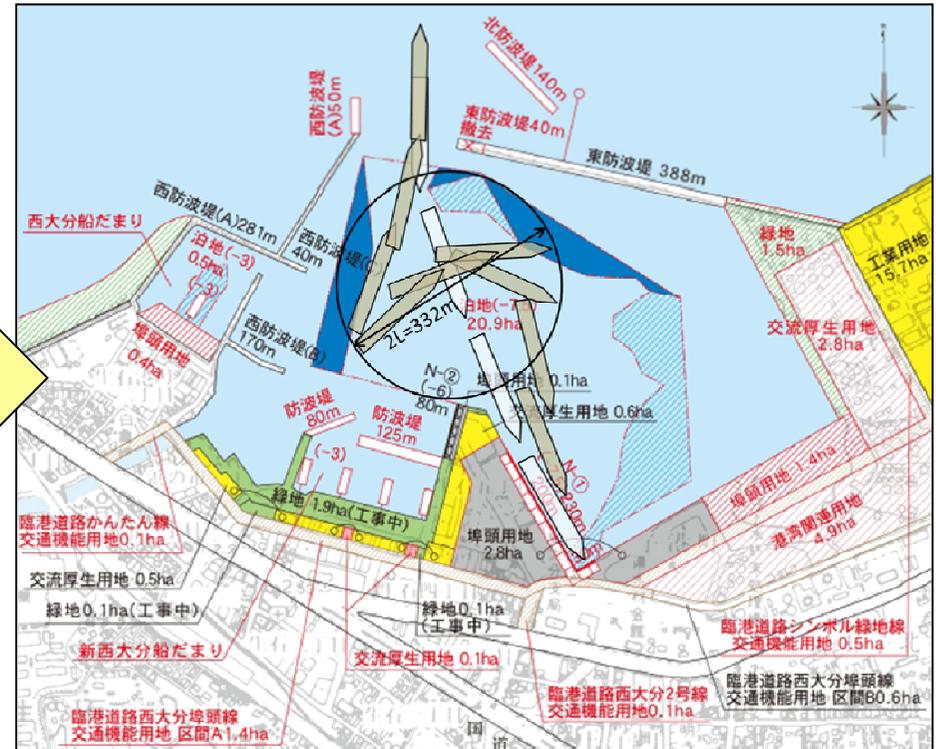
凡	例
	泊地 (今回計画)
	航路・泊地 (既定計画)
	(既定計画)
	防波堤 (既定計画)
	(撤去)
	耐震強化岸壁 (既定計画)
	小型棧橋 (既定計画)
	埠頭用地 (既定計画)
	(既定計画)
	緑地 (既定計画)
	(既定計画)
	その他の用地 (今回計画)
	(既定計画)
	(既定計画)
	交通機能用地 (既定計画)
	(臨港道路) (既定計画)
	物資補給岸壁 (既定計画)
	釣り棧橋 (既定計画)

# 操船例図

(既定計画)



(今回計画)



	既定計画 (平成18年11月改訂) の対象船舶
船種	フェリー
船型	11,500G/T
全長	166.0m
満載喫水	6.1m
スクリュー数	2

	現在就航している船舶
船種	フェリー
船型	11,380G/T
全長	165.5m
満載喫水	6.0m
スクリュー数	1

凡例	
	緑地 (今回計画)
	航路・泊地 (既定計画)
	(既設)
	防波堤 (既定計画)
	(既設)
	(撤去)
	耐震強化岸壁 (既定計画)
	小型棧橋 (既定計画)
	埠頭用地 (既定計画)
	(既設)
	緑地 (既定計画)
	(既設)
	その他の用地 (今回計画)
	(既定計画)
	(既設)
	交通機能用地 (既定計画)
	(臨港道路) (既設)
	物資補給岸壁 (既設)
	釣り棧橋 (既定計画)

# 確認の視点

確認事項	国としての確認の視点
	基本方針※
船舶航行等の安全の確保のための泊地範囲の変更	<p><u>I 今後の港湾の進むべき方向</u></p> <p>1 産業の国際競争力と国民生活を支える物流体系の構築</p> <p>(4) 船舶航行等の安全の確保と効率性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>港湾及び関連航路における船舶の安全で円滑な航行及び港湾における諸活動の安全を確保するため、船舶の大型化や高速化を勘案しつつ、防波堤、航路、泊地の整備等を行う。</u></li></ul> <p>特に、長周期波等に起因する荷役障害や港湾施設への被害に対しては、利用船舶や荷役形態に応じて、所要の荷役稼働率と安全性を確保するため、防波堤等の整備や係留方法の改善等を総合的に行う。</p>

※港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(平成23年9月15日施行)